

## 2章 立地適正化計画の基本的な方針

### 1. 目指すべき都市構造

立地適正化計画は、都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導しつつ、その周辺や公共交通の沿線に居住を誘導し、それらを公共交通ネットワークで結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」なまちづくりを進めることで、将来にわたり必要な都市機能を維持できる人口密度を維持し、日進市都市マスタープランで掲げる「将来都市構造」を実現するものです。

本市では、現状として、人口が増加している状況ではありますが、長期的には人口減少に転じることが予測されています。

このことから、一定のエリアに居住を誘導しながら人口密度を維持することにより、医療・高齢福祉・子育て・商業等の生活サービスを持続的に確保するとともに駅周辺などの生活利便性の高い拠点に都市機能を誘導し、それらを公共交通のネットワークで結ぶことでアクセスの利便性が高まり、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指していきます。

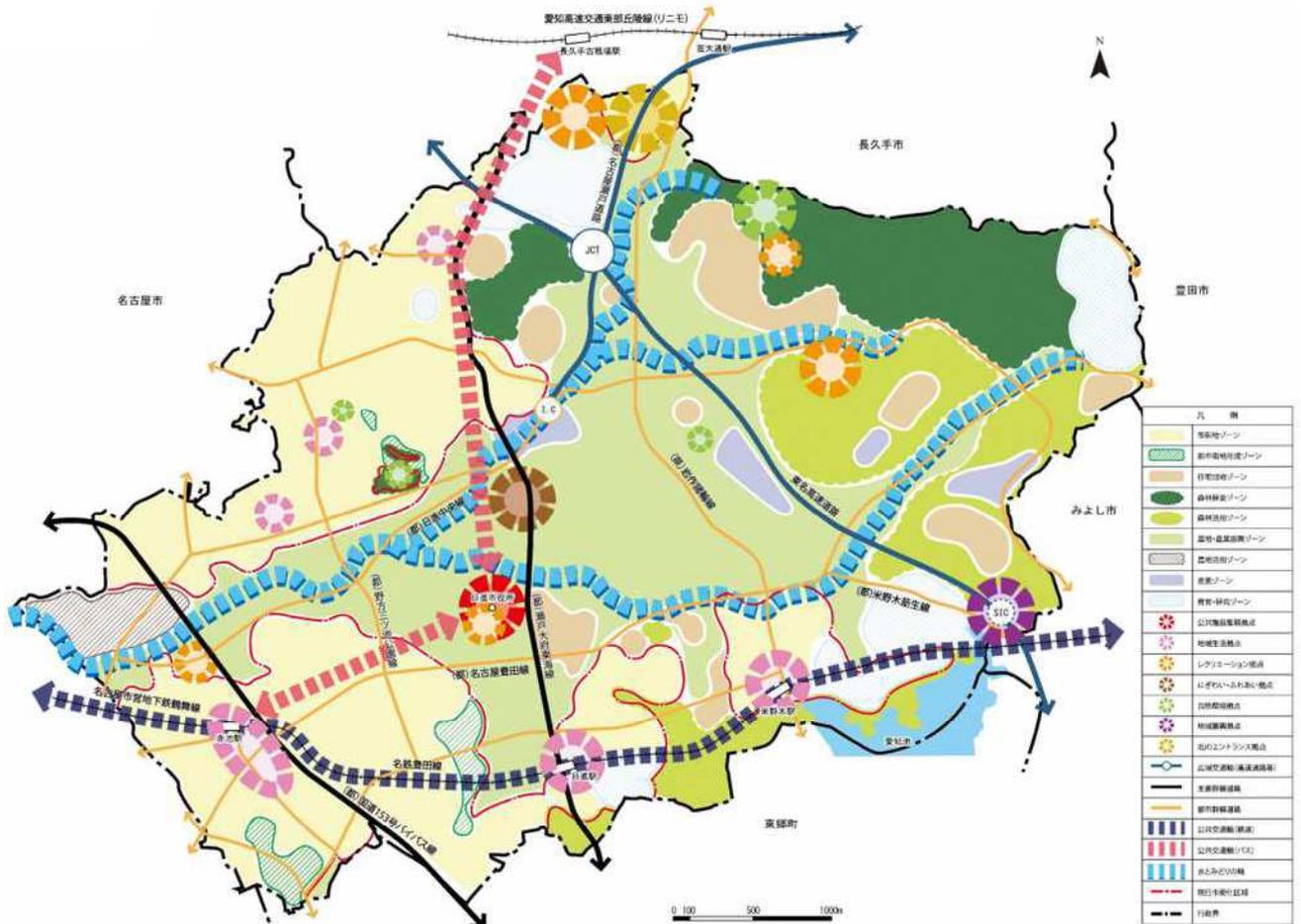


図 2-1 都市構造図

